

平成30年度 第7回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 平成30年10月3日(水) 13:25～14:55
2. 場 所 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 学長, 理事(教育・財務担当), 理事(研究・産学連携担当),
理事(国際・評価担当), 理事(総務・労務担当),
副学長(学生・附属図書館担当), 副学長(入試・広報担当),
副学長(情報担当), 副学長(男女共同参画・社会連携担当),
工学研究院長, 生命体工学研究科長, 教養教育院長,
副工学研究院長(副工学部長), 副情報工学研究院長(副情報工学部長),
副情報工学研究院長(副情報工学府長), 副生命体工学研究科長
4. 列席者 近藤監事

5. 議事要旨確認
平成30年度第6回(平成30年9月5日)の議事要旨(案)について確認が行われ, 了承された。

6. 報告事項
 - (1) 教育職員選考委員会委員の変更について (資料1)
学長から, 第18回役員会(9月21日)において承認された教育職員選考委員会委員の変更について, 報告があった。

 - (2) 学生の懲戒について (別添資料1)
副学長(学生・附属図書館担当)から, 本学の学生としての本分に反した行為を行った者に対し懲戒処分したことについて, 報告があった。

 - (3) 平成30・31年度大学院入学試験実施状況について (資料2)
副学長(入試・広報担当)から, 平成30・31年度大学院入学試験実施状況について報告があった。

 - (4) 「工学女子シンポジウム」の開催について (資料3)
副学長(男女共同参画・社会連携担当)から, 「工学女子シンポジウム」の開催について, 報告があった。

 - (5) 平成29年度国際交流協定校との連携実績数値化の結果について (資料4)
理事(国際・評価担当)から, 平成29年度国際交流協定校との連携実績数値化の結果及び支援対象協定校について, 報告があった。

7. 審議事項

- (1) 大学間交流協定の締結について (資料5)
理事(国際・評価担当)から、次の大学との大学間国際交流協定等を締結することについて説明があり、審議の結果、了承された。
①マラヤ大学(マレーシア・新規)
②ベトナム国家ハノイ科学大学(ベトナム・新規)
- (2) 保健センター規則の一部改正について (資料6)
学務課長から、分室長を廃止し、副所長を新たに設置する保健センター規則の一部改正について説明があり、審議の結果、了承された。
- (3) 教育職員選考時の履歴書記載事項修正の確認について (別添資料2)
理事(教育・財務担当)から、保健センター教授1名の教育職員選考時の履歴書の記載事項修正について説明があり、審議の結果、了承され、役員会に付議することとした。
- (4) 教育職員の選考について (資料7, 別添資料3)
工学研究院長、生命体工学研究科長及び教養教育院長から、次の教育職員の選考について説明があり、審議の結果、了承され、役員会に付議することとした。
①工学研究院 先端機能システム工学研究系 助教1名
②生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 グリーンエレクトロニクス講座 特任准教授 1名
③教養教育院 言語系 教授 1名
④教養教育院 言語系 講師 1名
- (5) 教育職員の処分に係る審査委員会の設置について (資料なし)
学長から、教育職員の処分に係る審査委員会の設置について説明があり、審議の結果、了承された。

9. その他

- (1) サウスイーストノルウェー大学訪問について
学長から、サウスイーストノルウェー大学訪問について報告があった。ノルウェーは、人口500万人程度だが、豊かな国のように見えた。大学も無償で、学部も大学院も英語による授業を進めており、小さいからこそ孤立しないように外と繋がるように努めていると感じた。今後、サウスイーストノルウェー大学との共同研究や産学連携など連携を進められるよう協力いただきたい旨要望があった。
- (2) 高大接続シンポジウム「工学系入試のこれから」について (机上配付)
副学長(入試・広報担当)から、高大接続シンポジウム「工学系入試のこれから」の開催について報告があった。

(3) 教育研究評議会の次回開催日について

1 1月7日（水）午後1時30分から百周年中村記念館特別会議室で開催する予定。